

製品名：MDBR-MKY2-L型-HWR-JSS-SBS-尿タンク300L（連結可）

■種類 自己処理型トイレ

- 特徴
- ・菌床：そば殻、バクテリアによる生物処理（特許第4105563号）
  - ・洋式：セパレート便器（し尿分離）（特許第4515962号）
  - ・重量センサーシステム、し尿分離システム  
槽内環境管理と使用制限回避（特許第4671407号）
  - ・雨水手洗装置：雨水を竹炭で浄化して手洗いや清掃に使用
  - ・商用電源、発電機等使用

## 製品写真



## 仕様

設置場所	公園・避難場所・学校・集会場他（普段は通常トイレとして使用）
本体外形寸法	(幅)1800×(奥行)3000×(高さ)2800mm
本体重量	約1800kg
処理回数(回/日)	・平常時 M型 30～50回/日 ML型 60～80回/日 L型 80～100回/日 ※(1回250ccとして) ・利用集中時：尿タンク連結 200L 1000回・300L 1500回・500L 2500回
耐用年数	法定耐用年数15年 全製品リース販売可（自治体のみ）
搬送方法(設置時)	4tユニック・ヘリ搬送（吊上げフック付）
初期水	使用なし（有機物生物処理に必要な水分は小便・雨水等を利用）
電源の有無	商用電源・発電機・他
立上最大消費電力	550W～900W
常時消費電力	250W～400W
ランニングコスト(年)	パフォーマンス契約による保守点検（メーカー） 20,000円～70,000円（回）
販売価格（税抜）	HPにて掲載
問合先	大央電設工業株式会社 Daio Densetsu Industrial Co.,Ltd TEL：0266-82-2233 FAX：0266-82-3200 E-mail：office@daiobio.co.jp
URL	<a href="http://www.daiobio.co.jp/">http://www.daiobio.co.jp/</a>
備考	汚泥・汚水を出さず自己処理を行う為、河川湖沼の富栄養化を削減。 好気性バクテリア投入により悪臭の発生も殆どなく、有害大腸菌などは熱で殺菌され、衛生的なトイレです。 バリアフリー・雷対策等全機種対応可。

平成25年度 環境省 環境技術実証事業で実証されました。（実証番号：030-1301）  
<http://www.env.go.jp/policy/etv/field/f01/p3.html> ※データは近日公開予定

製品の詳細は各企業の問合先へ直接ご連絡ください。その際には「災害用トイレガイド」を見た旨をお伝え下さい。

出典：災害用トイレガイド [www.toilet.or.jp/toilet-guide/](http://www.toilet.or.jp/toilet-guide/) 特定非営利活動法人日本トイレ研究所（災害用トイレ普及・推進プロジェクト）

